

—SNSのトラブルから— **キミを守る**

便利で楽しいSNSだからこそ
「正しく」使うことが大切です

4コマまんがで
いっしょに学ぼう!



かんしゅう
〈監修〉情報モラルエディター 今度 珠美

東成区

～キミたちの生まれる前からあるネット～

今やインターネットなしの暮らしは考えられません。
しかし、保護者や先生はネットが普及していなかった時代も知っています。
その時はどんな風に暮らしていたか、聞いてみましょう。
そしてキミたちはどうですか？
ネットを使っていますか？これから始める予定ですか？
自分の使い方、使ってきた時間など、
いろいろと話し合ってみましょう。

インターネットの利用状況



内閣府「令和元年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」をもとに作成

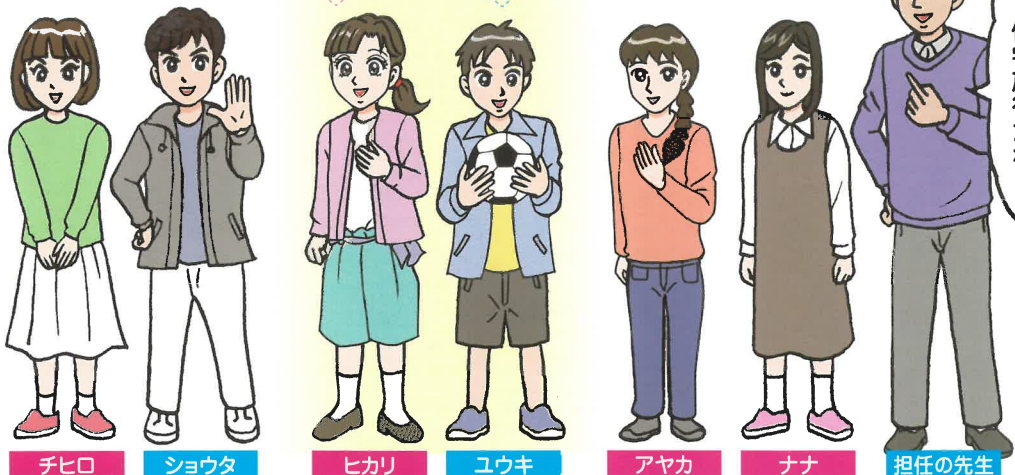
～正しく使って豊かに生きていこう～

- ✓ ネットやSNSは今後も社会に欠かせないツール、社会基盤であること
- ✓ しかし今、SNS上での誹謗中傷や人権侵害が深刻な問題であること
- ✓ ネットが「公共の空間」である、という意識がまだ低いこと
- ✓ 子どもたちも、社会の一員として正しく使うべきであること
- ✓ 特に来年から中学生となり、いっそう正しい振る舞いが必要なこと
- ✓ 上記を意識しておかないと、軽はずみな行動から犯罪に巻き込まれたり加害者となるケースもあり得ること

スマホは4年生から持っていてSNSやインターネットにちょっとだけ詳しい。
SNSで反応をもらえたり、速くのおばあちゃんとオンライン通話するのが楽しみ。

ゲーム、動画、サッカーが大好き。親のスマホを昔からさわっていたけど6年生になって自分のスマホを買ってもらった。さっそくゲームや写真のアルバムづくりに夢中となっている。

登場人物紹介



チヒロ

ショウタ

ヒカリ

ユウキ

アヤカ

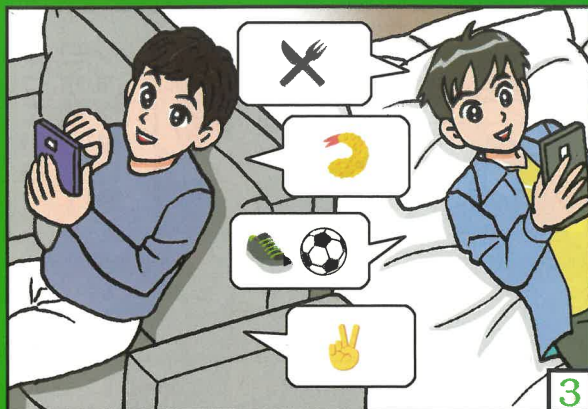
ナナ

担任の先生

第1話

夜ふかしにご注意を!

～普段の生活とSNSはメリハリが大切～



一緒に考えよう

- ・スマホの「通知」って気になる? 気にならない?
- ・夜になってトークから離れたい時、自分ならどうする?

いつでもどこでも、やりとりできる便利なトークアプリ。友だちと盛り上がるとやめ時に悩みますが、明日の準備や宿題など、普段の生活も大切です。

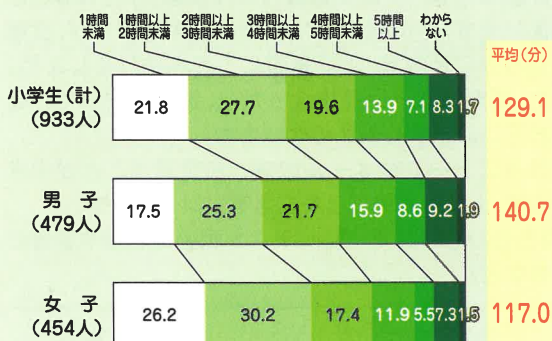
また「通知」が気になる人もいれば、そうでない人もいます。受け止め方は人によって違うため、返信がすぐなくても、相手のことを考え少し待ってみましょう。メリハリをつけるため「使わない時間帯・場所」を決めておくのもオススメ。優先順位を考えましょう。そうすれば、通知に振り回されることなく、いろいろな物事に「集中」できます。結果、SNSとも上手に付き合えるのではないのでしょうか。

私のスマホNGタイム

(例:宿題中、おつかい中など)

インターネットの利用時間/日

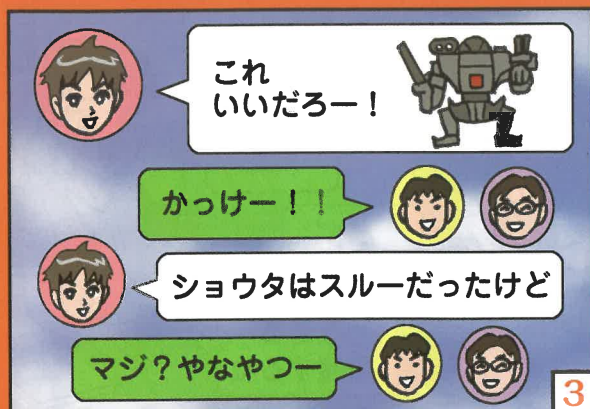
保護者・友人等とのコミュニケーションについて



内閣府「令和元年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」をもとに作成

言葉づかいに気をつけよう

～トークのやりとりはゆっくりと落ち着いて～



一緒に考えよう

- ・メッセージの誤解を防ぐためには、どうしたらよかった?
- ・友だちの様子がおかしい時、自分ならどうする?

トークアプリは、短い文章で次々とやりとりを行います。しかし、文字だけのコミュニケーションは、表情や声が伝わらないため実は難しく、「誤解」が生じることもあります。その場のノリや流れも大切ですが、文面はしっかりと考え、よく見直してから送りましょう。また、疑問なことは直接会ったり、電話で聞いてみるとお互いの誤解も少なくなります。

ちなみにトークやメールは後から見返すことができるので、大事な約束ごとを伝えるには便利です。

(待ち合わせの時間・場所、テスト範囲の記録や学習の共有など)

メッセージで
誤解されたことは

ある ない

トークのポイント

送る前に
しっかり確認

送る相手を間違っていないか、
わかりにくい表現はないか、
見直す習慣をつけよう

相手の都合も
考えよう

いつでも自由に送れるけど、
相手がすぐ見られるかは
わからない

ムカッ!と
なったら

即レスせず、一呼吸。
電話や学校で会うなど、
直接気持ちを伝えよう

「個人情報」を考えてみよう

～匿名でも特定される可能性～



一緒に考えよう

- ・スマホで撮った写真からは、どんな情報が読み取れる？
- ・個人情報の拡散は、いつどんな時に起きている？

写真にはさまざまな情報が写り込んでいます。顔は写ってなくても、例えば、学校名・持ち物・近所の風景などから、誰であるかが特定される可能性もあります。SNS上で、悪意を持った人物に特定されると、犯罪に巻き込まれることもあり、年々このような事件は増加しています。

SNSを利用する際は「プライバシー設定」をきちんと行い、また写真を投稿する際は、個人(自分や家族、友だち)につながる情報がないか、よく考えて行いましょう。

SNSの
プライバシー設定は している していない

ネットストーカーの存在

アイドルの瞳事件(2019年9月)

アイドル女性にストーカー行為をはたらき逮捕された男は、女性がSNSに投稿した写真、その「瞳に映っていた景色」から住所を特定した。

- ・女性の投稿から普段使っている路線名を把握
- ・地図サイトで投稿写真と特徴の似た駅を発見
- ・投稿動画で部屋の特徴をつかみ
- ・不動産サイトで近隣の物件画像と照らし合わせる
- ・最終的には顔写真の瞳に映った風景から自宅住所を特定

このように断片的な情報を集め特定していくことを「モザイクアプローチ」と呼ぶ。投稿者は匿名のつもりでも、思いもよらぬ情報から個人が特定されてしまうこともある。

デマから広がる偏見や差別

～ネット上にウソの情報が流れたら～



一緒に考えよう

- ・デマは、いつ・どんな時に広がっていくのだろうか?
- ・正しい情報を見極めるために必要な心がまえは?

「いわれない偏見や差別」は、繰り返されてきた歴史があり、特に大きな災害など、社会が不安定な時によく見られます。現在のコロナ禍でも「感染者への差別が怖い→検査をためらう→感染拡大を招く」といった、負のスパイラルが問題です。差別や偏見、それは私たちが感じる「不安や恐れ」が原因といわれています。この感情をコントロールするには、正しい情報を身に付け、起きている現状に共感できる「おおらかな心」を皆が持つことが大切です。人は一人ひとり置かれている状況も考え方も違う、その前提をもとに分かり合おうと努力する姿勢、それが「おおらかな心」なのです。

ネット上で間違った
情報を見つけたことは

ある ない

フィルターバブルとは?

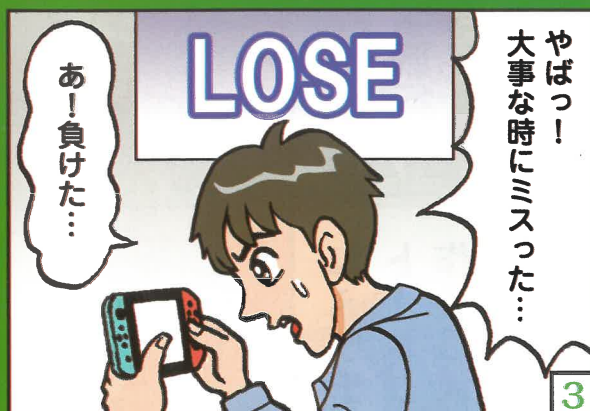
好きな情報だけに囲まれていると...

仲間にも囲まれ、自分の見たい情報だけ追ってしまふSNSでは「フィルターバブル」という落とし穴に注意が必要。これは、考え方のバブル(泡)の中で孤立し、他の情報をシャットアウトしてしまう現象を指す言葉です。ネット上では「自分がいま何を見ていないか?」という逆の視点が大切です。でも自分の情報が偏っているかどうかは、なかなか判断しづらいもの。普段から周りの家族や友だちとも、色々と意見を交わしてみましょう。



顔の見えない相手に気をつける

～ボイスチャットやDMに潜む危険～



一緒に考えよう

- ・ゲームで遊ぶと、どんな時に熱くなってしまうのだろう？
- ・見知らぬ相手とつながるとどうして危険？(ボイチャ・DM)

ついつい夢中になってしまうゲーム。チームプレーだと勝ち負けもいっそう熱く感じます。でも「熱くなっている自分」は大丈夫ですか？ボイスチャットでの暴言や挑発行為など、思いやりに欠ける行動はマナー違反です。画面の向こうの人とは「距離を持って」気持ちよく遊ぶことを心がけましょう。

そして、ゲーム相手は子どもだけではなく、DMやボイスチャットで誘ってくる悪意のある相手に注意し、個人情報絶対に言わないようにしましょう。トラブルになりそうになったら、すぐ保護者や先生に相談してください。

好きなゲームは？ _____

ゲームはSNSの側面も

SNSによる大阪女兒誘拐事件(2019年11月)

大阪市の小学6年女兒が行方不明となり、6日後に栃木県で保護された。加害者の男(35歳)と女兒がやり取りに使ったのはSNSのDMだが、知り合ったきっかけは人気ゲームアプリであった。

警察庁の「2019年(令和元年)の犯罪情勢」によると、SNS事件の被害児童は過去5年間で26.8%増え、過去最多の2,095人にのぼった。

悩みを打ち明ける子どもに対し、相談を装って近づく手口が多い。見知らぬ人に頼らないよう、周囲との関係を大切にしなければいけない。

第6話

「ネットいじめ」について考えよう

ひぼう
誹謗中傷が命を奪うことも…



来月の修学旅行は
いつもと同じ
班でいくぞー

1



ねえウチらの班も
トークグループ
作ろうよ！

行き場所
決めたりしょ

2



チヒロ
レス遅いし

グループ
作ったよー

チヒロは
なしで笑

送信！

3

一緒に考えよう

- ・トークアプリのグループ機能、しっかり管理できている？
- ・いじめや誹謗中傷は、SNS上でなぜエスカレートするの？
- ・SNSと現実、それぞれの人間関係の違いは？また同じ点は？



なんかみんなに
避けられてる？

次の日

7



え！
そんなこと
してないよ

チヒロから
「ウザメール」されたって
アヤカが言ってるよ

8



一方
ユウキは…

みんなに
きらわれ
たんだ…

修学旅行
楽しみだなー

9



どして？

おかしくない？

アヤカうざっ

そっちこそ

同じ班ムリ

男子もゆってた

5



チヒロまじ
ウザいんだけど

旅行中ムシ
しょーよ

ちょっと急に
どしたん？

6

SNSが生んだ悲劇(2020年5月)

恋愛リアリティ番組に出演していた、女性メンバーAさん(享年22歳)が自死した事件。

男性メンバーとのトラブルが放送された後、SNS上でAさんへの誹謗中傷、名誉毀損など、アンチコメントが大量に投稿され、負のループが巻き起こってしまった。その状況に悩み心痛めたAさんは、2020年5月23日、自宅で命を断った。事件後、Aさんの母親による告訴を受けた警視庁は、スマホ内に残った閲覧履歴などを復

元し、1000件を超える投稿を調査。うちの悪質な1人、大阪府の男(20代)を特定した。男は数回にわたり、AさんのSNSアカウントに対して「顔面偏差値低いし、性格悪いし、生きてる価値あるのかね」「ねえねえ、いつ死ぬの?」「いずれも原文ママ」などと書き込んでいた。男は侮辱罪として書類送検されたが、より重い名誉毀損の罪には問えず、SNS上での人権侵害に対して、大きな問題は残ったままである。

事件を受け、総務大臣が法整備を進めると発言をし、世の流れが少しずつ変わろうとしている。(詳細はP10)

自分たちを守る「約束」づくり

「SNS上のトラブルから身を守るために」



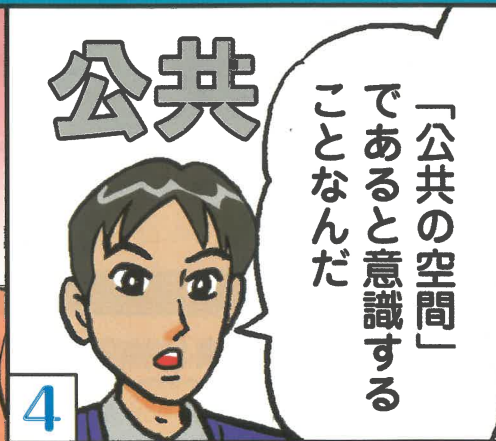
一緒に考えよう

- ・SNSとはそもそも何？どんな特性があるのだろう？
- ・「公共の空間」にはどんな役割があるのだろうか？
- ・「SNSの約束」キミはどんなことが思いつく？



私もムキになって
キツイ言葉を送って
しまい…

私は友達をグループに
入れずに仲間はずれに
してしまつて…



公共

「公共の空間」
である意識する
ことなんだ



トークだけじゃなくて
こんな風に話せていたらよかったね

私こそ

ゴメンね…



みんなが安心して
使っていくには
どうしたらいいと思う?



いいと
思います

賛成!
やろう!

ねえみんな!
私たちが「SNSの約束」
を作ってみようよ



そっか! 公共の空間だか
マナーや「約束」が大事

インターネット上の誹謗中傷に関する緊急提言 (2020年8月)

総務省が中心となって、SNS上での誹謗中傷に対する新しい法律が定められようとしている。

これまで被害者は、まずSNS事業者に掲載者の情報(IPアドレス: ネット上の住所)を開示させ、さらにインターネット事業者(プロバイダー)に氏名や住所を開示させる訴訟を起こさねばならず、負担が大きかった。SNS事業者は、投稿者の個人情報(氏名・住所)を持っていないケースが多いため、新しい法律ではSNS事業者と

プロバイダーに対し、1回の手続きで通信記録や電話番号などの開示を求められることになる。

また、SNS各社は利用規約*で年齢を定めている。(推奨が多く罰則はない)

*LINEは12歳以上。Twitter、Instagram、TikTok、Facebookは13歳以上。フォートナイト等、スマホゲームの多くは15歳以上。未成年もしっかりと自分で考え、正しく使っていくことが求められている。

ってる?

ト・SNSのこと



SNSの良い点と悪い点

良い点

書いてみよう!

1. _____
2. _____
3. _____
4. _____
5. _____

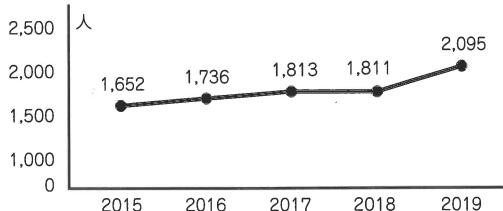
悪い点

書いてみよう!

1. _____
2. _____
3. _____
4. _____
5. _____

SNS上での犯罪被害

■SNSに起因する事犯の被害児童数(児童:18歳に満たない者)



警察庁「2019年(令和元年)の犯罪情勢」より作成

ユウキ:この前、怖い思いしたって言ったじゃん。ニュースでもよく見るよな、SNSの事件。

ヒカリ:うん、私の不注意でチヒロまで巻き込んだじゃった…

ユウキ:オレもさ、ゲームの対戦中に知らない相手からディスられてショックだった。こっちも悪かったけど。

ヒカリ:先生がこの前「SNSは公共の空間」と意識しなさい、って言ってたけど今だとすごくわかるなー

ユウキ:だよな、「来年から中学生だろ、頼むぞ!」ってよく声かけてくれるじゃん?

ヒカリ:うん、クラスみんなに「SNSの約束」を作ろうと言ったのも自分たちで考えられることを伝えたかったんだ。

さあ! クイズに挑戦しよう③

SNS上で犯罪被害にあった児童のうち「フィルタリング機能」を使ってなかった割合は?

- ①約30% ②約50% ③約90%

クイズ1の正解③
一番上に表示されるものは「広告」などの場合もあり、検索結果がすべて真実とは言えません。もちろん正しい場合もあります。ネットの情報を参考にするとき大切なのは、国や学校、公共施設など公的な機関、企業の公式サイトなど、さまざまな情報を参考にすることです。

クイズ2の正解①
プライバシー設定をオンにすると、外部からは投稿が見られなくなります。しかし投稿を見られるフォロワーが、スクリーンショットを撮って広めたらどうでしょう? 投稿は外部に知られるし、個人情報ももれることも考えられます。つまり、SNSは匿名とは言えず、むしろ開かれた「公共空間」に近いものです。

クイズ3の正解③
スマホ等を18歳未満が利用する場合、「フィルタリング機能」の設定が原則法令で定められています。有害サイトへのアクセスを断ったり、個人情報の入力をブロックしてくれる優れた機能。それゆえ、この機能を利用していなかったら、犯罪に巻き込まれる可能性も大きくなってしまいます。

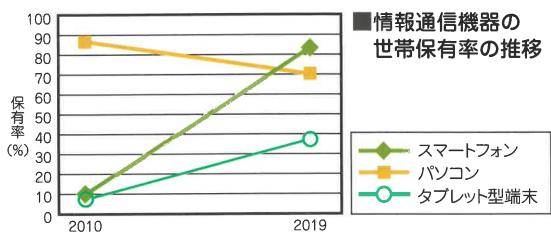


みんな知

インターネット

スマホの普及について

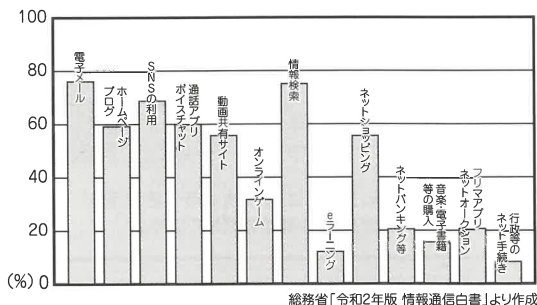
- ヒカリ:** スマホやタブレットが普及し始めたのは私たちが生まれた年あたりだね!
- ユウキ:** へー スマホって子どもの時からずっとあったけど、昔は違ったんだ!
- ヒカリ:** 10年前と比べてパソコンが下がってるのはどうして? 学校でも習うのに。
- ユウキ:** 親が言ってたけど、最近はスマホに慣れてキーボードが苦手な若者が多いんだって。



ネットの利用目的や用途

- ヒカリ:** ネットって本当に便利だね! 調べ物、ショッピング、なんでもできるもん。
- ユウキ:** この前、学校でタブレットが配られたし勉強で使う人ももっと増えるんだろうな。
- ヒカリ:** 調べ物に使う人が多いけどきっと勉強も入ってるんだろうね。

■インターネット利用の目的・用途 (複数回答)



さあ! クイズに挑戦しよう①

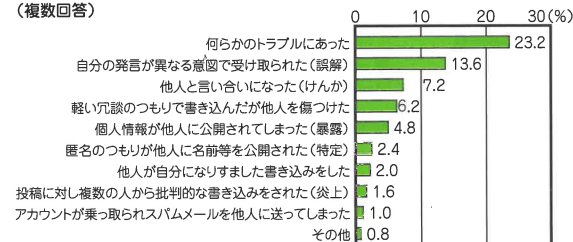
検索エンジン (Google など) で調べた時一番上に表示されている情報が最も正しい?

- ①正しい ②正しくない ③どちらとも言えない

SNS上で経験したトラブル

- ヒカリ:** さっきのグラフだとやっぱりSNSは多かったよね!
- ユウキ:** オレはゲームと動画で十分だよ。トークアプリもやっと始めたところだし。
- ヒカリ:** もう楽しいのに! あっ...でもこの前怖い思いしたんだ。気をつけないよ。
- ユウキ:** オレもこの前、ショウタのトークを早とちりで誤解したんだよね。

■ソーシャルメディアの情報発信者が経験したトラブル (複数回答)



さあ! クイズに挑戦しよう②

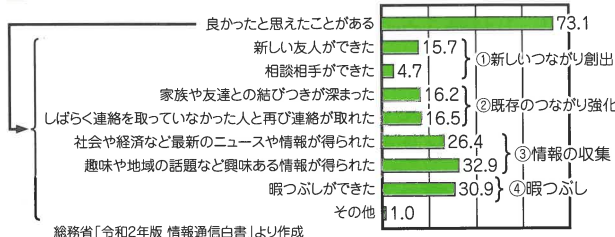
SNSの「プライバシー設定」の説明で正しいものはどれ?

- ①匿名にはならない ②友達だけの空間になる
③他人に投稿を見られない

SNSを利用して良かったこと

- ヒカリ:** でもさ、上手に使える便利なこと、楽しいこともいっぱいあるよね。
- ユウキ:** 親が昔の同級生をSNSで見つけて連絡してたけど、すごうれしそうだった。
- ヒカリ:** ステキじゃん! 私も友だちとつながってる時が一番楽しい時間!

■SNSを利用して良かったこと (複数回答)



これまでにあった SNS上での^{ひぼう}誹謗中傷や人権侵害

事例1

衣料品店 従業員への土下座強要事件(2013年10月)

どんな事件?

子ども連れの女性客が「商品に穴が空いていた」と訴え、従業員に土下座をさせた上、その様子を携帯電話のカメラで撮影しSNSへ投稿。従業員の被害届けを受け、女性は強要の疑いで逮捕された。

事件後は?

「店員を土下座させたクレマー」として、「炎上」のターゲットに。女性の氏名、住所、子どもの写真などが、ネット上で瞬く間に暴かれた。店員への人権侵害を犯した女性、そしてその行為に今度は多くの人がネット上で誹謗中傷を行なってしまった。人権侵害、炎上、不特定多数からの誹謗中傷など、一連がSNS上で起き、このような事件は以降も続発している。



事例2

子役から活躍する女優への^{ひぼう}誹謗中傷事件(2018年10月)

どんな事件?

子役として活躍していた女性は、9歳の頃から10年もの長い間にわたり、SNS上などで様々な誹謗中傷を受け続けてきた。自分の意見を発信し続ける女性への誹謗中傷はどんどんエスカレートしていき、身内へも及んでいった。

事件後は?

一向に止まない誹謗中傷に対し、ついに女性は裁判を起こすことを決意。インターネット事業者(プロバイダー)に、犯人を特定するための情報開示を求めた。一年後、東京地裁は発信者の住所や氏名の開示をプロバイダに命じた。その後、相手に対し刑事告訴を起こし、被告が女性側に示談金約315万を支払うことで示談が成立した。



事例3

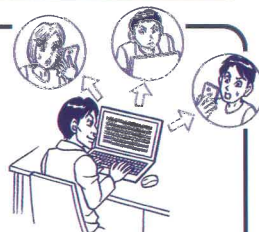
デマが巻き起こしたガラケー女事件(2019年8月)

どんな事件?

茨城県の高速道路で起きた悪質なあおり運転事件。蛇行運転などで進路をふさぎ停車させた上、犯人は相手男性の顔を殴りつけた。逮捕された男は、過去にも同様の事件を繰り返しており、あおり運転を取締る法律が改正されるきっかけともなった。

事件後は?

被害者のドライブレコーダー映像が報道され「加害者の側にガラケーで撮影していた女」がいることが判明した。とあるユーチューバー男性により、ある女性が「ガラケー女」として特定され広く拡散されたが、まったくのデマであった。事件と無関係の女性はSNS上で晒され、自身の会社へは迷惑電話や誹謗中傷のメッセージが殺到した。2021年2月、女性はこのユーチューバーに対し、「デマにより名誉を傷つけられた」と賠償を求めて裁判を起こした。



事例4

Jリーグサポーターなりすまし事件(2020年9月)

どんな事件?

人気J1チームのサポーター(実在する人物)のなりすまし事件。神戸のチームに対し「市民はもう1回震災で逝くといひ」、外国人選手に対しては「国に帰れ」(いずれも原文ママ)といった、差別的な投稿がSNS上で多数行われ拡散した。

事件後は?

チームは「SNSにおける差別・偏見・誹謗中傷にあたる投稿について」と声明を発表。投稿には「断罪されるべき」と怒りをあらわにし、「これらの行為は絶対に許容しません」と声を上げている。また全面的に戦う姿勢を見せている。



人が使うからこそ「SNS」。ネットという広大な公共空間にSNSを通じて多くの人々が存在しているのです。
それは私たちが暮らす街と同じようなもの。
自分はその中でどのように行動するのか。
正しく使っていくための「約束」を自分たちで決める必要があります。



監修者から保護者の皆さまへ

インターネットの善き使い手に

メディアは、情報を正しく再現して伝えることはできません。なぜなら、そこには情報を伝える側の主観、意図が反映されるからです。メディアから情報を受け取った時は、「そこで伝えられていないことは何か」「何が見えなくなっているのか」を日頃から意識するようにしましょう。

しかし、情報をどう受け止めるかは、受け取った側の知識、経験、思想により決定されます。情報を批判的に読み解くためには、幅広い知識が必要です。インターネットでは、自分の興味関心のある話題や考えに情報が偏りがちです。情報を正しく読み取るために、日頃から様々な立場の人の話を聞き人権教育や史実も学びましょう。未来社会を担うインターネットの善き使い手になるために、「私は何を見ていないのか」「何を見ようとしていないのか」を意識し、「多様性に配慮し寛容さを持つこと」を忘れないようにしましょう。

インターネット上の人権侵害は、インターネットや機器が起こしているものではありません。人が起こしているのです。人権問題は、人の心でしか防ぐことができないことを忘れないようにしたいですね。



監修アドバイザー紹介

いまだ たまみ
今度 珠美氏

鳥取県情報モラルエドゥケーター
デジタル・シティズンシップエドゥケーター
鳥取大学大学院修了 教育学修士

全国の小中高等学校で年間150校を超える「情報モラル」「デジタル・シティズンシップ」の授業実践、講演を行う。学会発表、専門誌等への寄稿、連載等も多数。開発した教材は学習デジタル教材コンクールで学情研賞、日本教育新聞社賞を受賞。
主な著書「デジタル・シティズンシップ/コンピュータ1人1台時代の善き使い手をめざす学び」大月書店
「スマホ世代の子どものための情報活用能力を育む情報モラルの授業2.0」日本標準 他

『SNSのトラブルからキミを守る』 大阪市東成区役所 市民協働課

発行日：2021年3月31日

監 修：今度 珠美(情報モラルエドゥケーター)

企画制作：株式会社ブンカ

構成・シナリオ：澤谷 大介(株式会社ブンカ)

コーディネート：田中 大夢(株式会社ブンカ)

漫画イラスト：野村 直樹

DTPデザイン：青葉印刷株式会社

協力：

東成区小学校校長会・東成区人権啓発推進員連絡協議会

東成区青少年指導員連絡協議会・東成区PTA協議会

東成区生涯学習推進員連絡協議会

主な参考資料：内閣府「令和元年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」

総務省「平成30年版 情報通信白書」、総務省「令和2年版 情報通信白書」

警察庁「2019年(令和元年)の犯罪情勢」ほか

インターネット上のトラブルや人権に関する相談窓口

子どもの人権110番(法務省)

 0120-007-110

月曜～金曜 午前8時30分～午後5時15分

※祝日、年末年始(12/29～1/3)は除く

※一部のIP電話からはつながりません

子どもの人権SOS-eメール(法務省)

ホームページの相談フォームに相談したい内容を入力して送信すると、メール、又は電話で回答します

(すぐに相談したいときは子どもの人権110番へ)

<https://www.jinken.go.jp/kodomo>



大阪市人権啓発・相談センター

 06-6532-7830

 06-6531-0666

月曜～金曜 午前9時～午後9時

日曜・祝日 午前9時～午後5時30分

※年末年始(12/29～1/3)は除く

※人権相談の受付は、相談時間終了の30分前までです

※電子メールで相談することもできます!

<https://jinken-net.jimdo.com/>メール相談

